



大学・企業 京都の力発信

左京で「創生フェス」

明治維新から150年を記念し、京都の大学や企業、文化の魅力を発信する「京都創生フェスティバル」が6日、京都市左京区の府立京都学・歴史館などで催された。府内4大学による研究紹介や科学実験の体験ブースなどがあり、多くの人でにぎわった。

明治150年記念事業

学生の指導を受け、高吸水性ポリマーを使って芳香剤作りに取り組み子ども(京都市左京区、府立京都学・歴史館前)



研究紹介や実験体験

の一環として府が主催した。京都工芸繊維大や京都府立大の学生や教員が、自作したレーシングカーの展示や、肥満改善に効果が期待される希少糖「アルロース」の紹介などをした。

京都薬科大のコーナーでは、子どもたちが粉末状の高吸水性ポリマーを使って芳香剤作りに取り組んだ。約200倍の水分を吸収する高吸水性ポリマーを水の入った試験管に入れると、急速に膨らみ、子どもたちが驚きの声を上げた。京都インターナショナルスクールの上原悠君(8)「京都市北区」は「理科をもっと勉強してみたくなった」と話した。

基調講演は、島津製作所社長の上田輝久さんが「伝統技術が育んだ最先端技術、未来への展望」と題し、「京都は長寿企業が多いが、進取の気性も同時に持ち合わせている」と語った。

(北川裕猛)